



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 キムラユニティ株式会社
 コード番号 9368 URL <http://www.kimura-unity.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 幸夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 小山 幸弘
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 名

TEL 052-962-7053

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	30,153	4.8	1,222	51.7	1,577	60.9	925	59.1
25年3月期第3四半期	28,785	2.7	805	△6.0	980	6.6	581	46.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,194百万円 (180.7%) 25年3月期第3四半期 781百万円 (71.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	76.70	—
25年3月期第3四半期	48.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	47,236	24,271	49.9	1,952.67
25年3月期	42,074	22,355	52.0	1,812.82

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 23,565百万円 25年3月期 21,877百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
26年3月期	—	11.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,600	4.8	1,550	13.9	1,700	2.0	1,000	7.6	82.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P3「サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	12,070,000 株	25年3月期	12,070,000 株
26年3月期3Q	1,675 株	25年3月期	1,662 株
26年3月期3Q	12,068,330 株	25年3月期3Q	12,068,415 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や金融緩和政策等により、円高から円安への転換や株価の上昇など、景気回復への期待感が高まり、明るい兆しが見られたものの、新興国経済の減速、欧州での債務危機問題の長期化や消費税増税後の景気減速懸念等、先行き不透明な状況で推移しました。また、当社グループと関係の深い自動車業界は、円安への転換等もあり、企業収益は全般に好転の中で推移しましたが、国外、国内とも未だ先行き不透明で、力強さに欠ける状況であります。

このような環境の中で当社グループにおきましては、物流サービス事業は、北米子会社KIMURA, INC.でのパレット事業の受注の回復や新たに物流事業を開始したこと等により、好転しましたが、反面、自動車サービス事業では、自動車販売の落ち込み等により、厳しい状況で推移しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、30,153百万円（前年同期比4.8%増収）となりました。

一方、利益面においては、物流サービス事業を中心に、収益改善活動を継続的に推進した効果等により、営業利益が1,222百万円（前年同期比51.7%増益）、経常利益は為替差益の計上もあり1,577百万円（前年同期比60.9%増益）、四半期純利益は925百万円（前年同期比59.1%増益）となりました。

なお、主なセグメント別の売上高(セグメント間の内部売上を含む)、営業利益の状況は次のとおりであります。

① 物流サービス事業

物流サービス事業は、北米子会社KIMURA, INC.でのパレット事業の受注の回復や新たにカナダの大手自動車メーカーからの物流作業の受注を開始したこと等により、売上高は20,738百万円（前年同期比7.7%増収）となりました。営業利益は、増収効果に加え、新規事業所を含め生産性の改善等の収益改善が着実に成果をあげることが出来たこと等により、1,523百万円（前年同期比60.8%増益）と大幅な増益を確保することが出来ました。

② 自動車サービス事業

自動車サービス事業は、前期のエコカー補助金制度の影響が当期なくなったことに伴い、自動車販売が減少したこと等により、8,550百万円（前年同期比0.6%減収）となりました。営業利益は、売上高の減収や稲沢拠点の再開による費用の発生等もあり、382百万円（前年同期比15.1%減益）となりました。

③ 情報サービス事業

情報サービス事業は、長期化する企業のシステム投資抑制の影響等により、売上高は700百万円（前年同期比8.6%減収）となり、営業利益は、売上高の減収により、50百万円（前年同期比45.2%減益）となりました。

④ 人材サービス事業

人材サービス事業は、売上高は544百万円（前年同期比1.0%減収）となり、営業利益は、募集コストの増加等により、44百万円（前年同期比12.2%減益）となりました。

⑤ その他

その他サービス事業は、今期より開始しました売電サービスにより、売上高34百万円、営業利益13百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末における総資産は、47,236百万円となり、前連結会計年度末に比較して5,161百万円の増加となりました。その主な要因は、(株)スーパージャンボの株式を12月9日に取得したこともあり(※)、流動資産が現金及び預金、棚卸資産及びリース投資資産の増加等により2,128百万円増加し、固定資産が、国内でのソーラーパネルの設置、稲沢APR本店(整備、钣金工場)再開等により有形固定資産が1,487百万円、投資その他の資産が、有価証券の時価上昇に伴う投資有価証券の増加等により738百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債合計は、22,964百万円となり、前連結会計年度末に比較して3,245百万円の増加となりました。その主な要因は、(株)スーパージャンボ株式取得資金の調達等により、借入金が2,383百万円増加したこと等によるものであります。純資産につきましては、前連結会計年度末に比較して1,916百万円増加の24,271百万円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末比2.1ポイント下落の49.9%となりました。

(※) (株)スーパージャンボ株式取得による総資産の増加額 1,012百万円

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、政府の経済対策もあり、国内景気が本格的に回復する兆しが見えつつありますが、中国を始めとする新興国での景気減速や米国での不安定な政治状況等、引き続き不透明な状況が続くものと思われれます。

このような環境の中で当社グループの業績につきましては、第2四半期累計期間が当初の見通しより、上ブレして推移しましたが、各事業セグメント間にはバラツキがあるものの、今後の見通しは不透明感が強いことから、全体的には、平成25年4月26日に公表しました業績予想の変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当第3四半期連結累計期間において、平成25年12月9日付で株式会社スーパージャンボの全株式を新たに取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,498,610	5,434,620
受取手形及び売掛金	5,551,922	5,683,978
リース投資資産	7,356,092	8,050,411
商品及び製品	88,737	538,529
仕掛品	29,579	105,204
原材料及び貯蔵品	120,261	202,357
繰延税金資産	273,767	252,979
その他	1,181,185	960,718
貸倒引当金	△800	△1,000
流動資産合計	19,099,356	21,227,799
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,439,246	9,159,345
機械装置及び運搬具（純額）	426,223	466,856
貸与資産（純額）	287,855	328,766
土地	5,908,526	6,095,706
建設仮勘定	66,806	77,156
その他（純額）	372,787	860,688
有形固定資産合計	15,501,445	16,988,519
無形固定資産		
のれん	8,168	755,845
その他	684,162	744,872
無形固定資産合計	692,330	1,500,718
投資その他の資産		
投資有価証券	3,639,436	4,082,653
繰延税金資産	410,885	440,023
その他	2,734,203	2,999,892
貸倒引当金	△3,056	△3,056
投資その他の資産合計	6,781,469	7,519,513
固定資産合計	22,975,244	26,008,751
資産合計	42,074,601	47,236,550

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	904,456	1,203,131
短期借入金	1,354,528	2,721,337
1年内返済予定の長期借入金	42,363	1,054,991
未払金	3,333,211	3,268,004
未払費用	1,660,797	1,920,719
未払法人税等	419,316	261,998
賞与引当金	614,489	217,769
役員賞与引当金	20,000	17,500
その他	389,477	385,667
流動負債合計	8,738,640	11,051,120
固定負債		
長期借入金	2,105,909	2,109,983
長期未払金	5,940,971	6,481,229
退職給付引当金	1,811,194	1,733,624
再評価に係る繰延税金負債	1,010,095	1,010,095
その他	112,458	578,528
固定負債合計	10,980,628	11,913,461
負債合計	19,719,269	22,964,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,580,350	3,580,350
資本剰余金	3,420,139	3,420,139
利益剰余金	14,277,724	14,925,876
自己株式	△1,382	△1,395
株主資本合計	21,276,831	21,924,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	755,293	970,922
土地再評価差額金	399,762	399,762
為替換算調整勘定	△554,063	269,847
その他の包括利益累計額合計	600,992	1,640,532
少数株主持分	477,507	706,465
純資産合計	22,355,331	24,271,968
負債純資産合計	42,074,601	47,236,550

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	28,785,818	30,153,861
売上原価	24,546,717	25,345,873
売上総利益	4,239,100	4,807,987
販売費及び一般管理費	3,433,248	3,585,556
営業利益	805,852	1,222,431
営業外収益		
受取利息	922	7,086
受取配当金	33,118	43,610
為替差益	31,941	162,317
持分法による投資利益	139,913	224,128
その他	44,694	39,148
営業外収益合計	250,590	476,291
営業外費用		
支払利息	70,937	80,076
和解金	—	18,640
その他	5,245	22,338
営業外費用合計	76,182	121,055
経常利益	980,260	1,577,667
特別利益		
固定資産売却益	1,263	106
特別利益合計	1,263	106
特別損失		
固定資産除売却損	13,146	52,617
その他	454	695
特別損失合計	13,600	53,312
税金等調整前四半期純利益	967,922	1,524,461
法人税、住民税及び事業税	329,207	509,848
法人税等調整額	11,401	20,788
法人税等合計	340,608	530,637
少数株主損益調整前四半期純利益	627,314	993,824
少数株主利益	45,452	68,101
四半期純利益	581,861	925,722

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	627,314	993,824
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	114,903	215,628
為替換算調整勘定	63,897	892,798
持分法適用会社に対する持分相当額	△24,492	91,969
その他の包括利益合計	154,307	1,200,396
四半期包括利益	781,622	2,194,221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	721,633	1,965,263
少数株主に係る四半期包括利益	59,988	228,958

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	物流サービス事業	自動車サービス事業	情報サービス事業	人材サービス事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	19,258,281	8,559,664	765,584	202,288	28,785,818	—	28,785,818
セグメント間の内部売上高又は振替高	942	42,417	—	347,601	390,961	△390,961	—
計	19,259,223	8,602,081	765,584	549,889	29,176,779	△390,961	28,785,818
セグメント利益	947,366	450,557	91,933	50,360	1,540,219	△734,366	805,852

(注) 1. セグメント利益の調整額△734,366千円には、セグメント間取引消去2,281千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△736,648千円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流サービス事業	自動車サービス事業	情報サービス事業	人材サービス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	20,737,856	8,506,416	700,079	174,531	30,118,883	34,977	30,153,861	—	30,153,861
セグメント間の内部売上高又は振替高	247	43,839	—	369,643	413,729	—	413,729	△413,729	—
計	20,738,103	8,550,255	700,079	544,174	30,532,613	34,977	30,567,591	△413,729	30,153,861
セグメント利益	1,523,096	382,340	50,389	44,234	2,000,061	13,658	2,013,719	△791,288	1,222,431

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. セグメント利益の調整額△791,288千円には、セグメント間取引消去2,281千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△793,569千円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。